

# 奥歯に発生した小さな虫歯の詰め物の治療(インレー治療)



## インレー治療の適応と禁忌

- 神経の健全な歯に適応
- 咬む面の1/3を超えない虫歯や破損した歯
- 奥歯の小さな虫歯には広く適応
- 前歯の治療には不向き
- 咬む力が大きい場合、歯材質の選択に注意
- 材質により、審美感や機能が異なる

## インレー治療

歯と詰め物の境目の適合が悪く、隙間や段差があると2次的虫歯の原因となる。  
人工物で継ぎ足し修復をした歯は、健全な歯に比べ虫歯になるリスクが大きくなる。  
定期健診を受け日頃から口の中のお手入れには十分注意しておきましょう。



## インレーの種類と特徴

小さな詰め物(インレー)は、厚みの少ない小さな人工物で歯の欠損部分の機能を補うため、材質は咬む力に耐える強度を持つものが用いられます。材質による審美製や強度に各特徴を持ちます。

\* 金属アレルギーの可能性のある方は担当する歯科医師に使用される金属名を聞き、皮膚科にてアレルギーテストを受けられることをお勧めします。

	金合金	セラミックス	銀合金
写真			
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 人体になじみ易い</li> <li>□ 天然歯と同程度の硬度を持ち、咬んだ時の違和感が少ない</li> <li>□ 歯と詰め物の適合が良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 歯色を選択でき、審美的に優れている</li> <li>□ 咬む力が強い人やかみ合わせに負担がかかりやすい場合、破損し易い</li> <li>□ 歯と詰め物の適合(段差調節)が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 経過により金属腐食(酸化)し易い</li> <li>□ 歯と詰め物の適合が良い</li> <li>□ 天然歯に比べ高度が高い</li> </ul>
費用	自費	自費	保険